

【概要】

近年、郊外住宅団地で高齢化が進行しており大きな問題となっている。高齢者世帯が増えるということは住宅団地において老老介護が多くなることはいえる。介護は介護者にとって大きな負担となるため負担軽減のために介護によって時間的制約を受ける余暇時間を確保することが求められている。老老介護をおこなう介護者が時間的制約を受けている余暇時間を確保し活用しているのか介護経過による変化を介護者の介護環境、施設利用といったサポートに着目して聞き取り調査をおこなった。その結果介護者は①要介護者の症状が重くなるに連れ余暇時間の確保が困難になっていくこと②要介護者が就寝時に余暇時間の確保して日課や簡単な趣味活動をおこなっていること③施設利用によって余暇時間を確保していることが判明した。